

Topic 06 伝統的な祭りに学生たちが参加

総合政策学部 地域・まちづくり分野専門教育科目「都市祭礼論」/「祭りとまちづくり」で、8月4日（日）に四日市市のシンボルでもある大入道山車練りに、8月14日（水）、15日（木）には、『鳥出神社の鯨船行事』に実習として参加しました。

両日ともに快晴の炎天下での実施でしたが、学生たちも地域の方々と交流しながら、祭りの意味、地域の意味を実感できたと思います。人口減少が進み、地域行事を引き継げる人材が少なくなっている中で、個人に何ができるか、そして、四日市市の歴史と文化を感じてもらえる非常に充実した2日間になりました。



Topic 07 スイーツ商品開発、本格的にスタート！

総合政策学部の二村ゼミと鶴田ゼミでは、四日市市に支店がある垣善フレッグ株式会社直営の店舗である『卵卵ふわあ〜む』と商品開発を行うことになりました。

『卵卵ふわあ〜む』は、卵とその卵を使ったスイーツや、紀伊半島でしか採れないジャバラという果物を使った商品を販売されています。

商品開発にあたり、四日市支店に行き、商品のラインナップやお店の雰囲気を見学してもらいました。また、7月11日（木）に行われた商品開発の話し合いに参加した学生たちからは、「冷凍スイーツも良いんじゃないですか?」「利益率はどれくらいをお考えですか」「インスタで見栄えをよくするならフォントサイズを大きくした方が良い」など多くの質問や意見が出てとても盛り上がりしました。

いよいよ商品開発に向けて本格的にスタートします！

Topic 08 岡村真さん、パリ五輪体操女子団体8位入賞

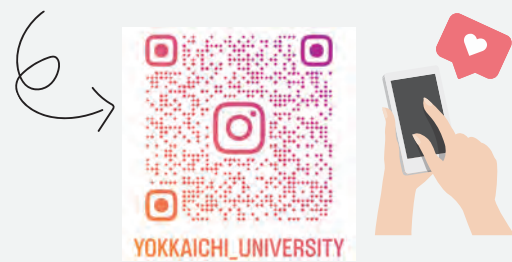
7月31日（水）深夜（日本時間）に行われたパリオリンピック体操女子団体決勝において、岡村真さん（総合政策学部1年）が所属する日本チームが8位に入賞しました。

9月27日（金）、学部生に向けた報告会が行われました。



follow me!!

学生たちの活動や
オープンキャンパスの最新情報は
Instagramをチェック！



〔発行〕入試広報室
〒512-8512 三重県四日市市萱生町1200
〔受験生サイト〕
<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/admission/>



四日市大学の最新情報をお届け！



campus for you

2024.7~9

contents

- P.1 ▶伊勢湾海洋調査実習を実施
- P.2 ▶地元企業魅力発見バスツアー
▶名張商工会議所×四日市大学
- P.3 ▶「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定

- ▶鈴鹿山脈・宮妻峡でのライトトラップによる昆虫調査
- P.4 ▶伝統的な祭りに学生たちが参加
▶スイーツ商品開発、本格的にスタート！
▶岡村真さん、パリ五輪体操女子団体8位入賞

Topic 01 伊勢湾海洋実習を実施

環境情報学部の正課科目「海洋調査法／伊勢湾海洋実習」の海洋実習を8月5日からの2泊3日で実施しました。この実習は2009年度から毎年行って来たもので、今回で14年目になります。今回は、23名の学部生と教員2名が参加しました。



環境情報学部 1年
櫻井 庵さん
愛知県立中村高校出身

僕はメディア専攻ですが、入学してから生物や環境のことにも興味が出てきて、今回の海洋調査実習に参加しました。

海洋調査実習では、水質やマイクロプラスチック、海洋生物の調査などの実習を行い、普段の生活では体験できない有意義で楽しい3日間を過ごしました。

それに、海上での集団生活ということで、絆が深まったり、新たな交流や友人関係も生まれました。

昨年度は台風の影響で中止になり、学生たちは悔しい思いをしましたが、今回は風や波がなく、海面も穏やかで、久しぶりに伊勢湾外の太平洋に出て実習を実施出来ました。トビウオの飛翔やシモクザメが遊泳する姿などを見ながら伊良湖水道を抜けると、海の透明度はグングン上がり、沖の測定点では透明度が30mを超えました。学生たちは清く澄んだ海水を見て、湾内との違いに驚いていました。

そのような海でも、ニューストンネットを曳くと、多数のマイクロプラスチックが回収され、海洋のプラスチック汚染の深刻さを改めて感じたようでした。



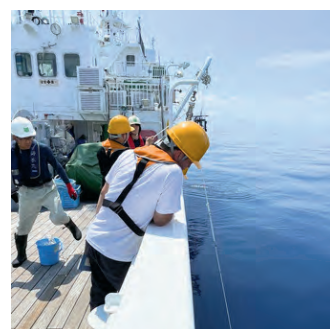
ミニ解説
ニューストンネット…表層のプランクトンや魚卵等を採集するためのネット



環境情報学部 1年
塩澤 遥さん
長野県立飯田風越高校出身

今回の海洋調査実習は、暑く天気の良い日に行われました。そのため、太平洋沖の観測地点まで行くことができ、湾内と湾外での水の透明度・海面に浮かぶプラスチックごみ・酸素濃度の違いから、生息する生物にも違いが見られました。

また、船内の興味深いものをたくさん見せていただくことができたり、船内の生活も参加した学生で協力しながら2泊3日を過ごしたりと、とても良い経験になりました。



Topic 02 地元企業魅力発見バスツアー

8月8日（木）地元企業魅力発見バスツアーを行いました。このバスツアーは、四日市市との連携事業で、地元の魅力的な企業を学生に知ってもらう趣旨で、年2回、開催しています。

1社目に訪れたのは、三岐鉄道株式会社。学生も通学バス等で利用している馴染みのある企業です。バスや鉄道といった公共交通機関はもちろんですが、それ以外にもさまざまな「まちづくり」に関連する事業を展開されていることをお話していただきました。

2社目は、株式会社中村製作所のオープンファクトリーカフェを訪れました。中村製作所は、「空気以外なんでも削ります。」をモットーとする部品加工メーカーですが、新業態として蓄熱調理ができる土鍋（ベストポット）を開発・販売しており、別会社MOLATURA（モラトゥーラ）として展開しています。今回訪問したオープンファクトリーカフェは、ベストポットの製造現場であると同時に、ランチやドリンクを提供するカフェでもあるというユニークな店舗です。学生たちはベストポットを使ってお米を炊く体験をさせていただき、その間に陶磁器の製造現場を見学しました。



3社目は、四日市港ポートビル。100mのビルは見て知ってはいましたが、実際に14階の展望展示室「うみてらす14」は初めて登る学生も多かったです。高いところからみる眺望を楽しみながら、港の役割や施設について四日市港の方からお話を伺いました。

4社目は、藤原工業株式会社を訪問しました。藤原工業は、空調・給排水・消防などの配管をおこなう企業で、公共施設・病院・福祉施設・商業施設などの設備も手がけています。本学の卒業生からも企業の説明をうけ、学生たちもとても参考になったと思います。

最後に、じばさん（四日市地場産業振興センター）で地場製品の説明と見学をしました。

「まちづくり」というと行政やNPOが主体だと思いがちですが、実際には、地域を支えるさまざまな企業があることを知ることができたと思います。学生からも「四日市への愛着がさらに高まった」「就職して地域に貢献するというのがよくわかった」「とても良いツアーだった」と好評でした。

Topic 03 名張商工会議所×四日市大学

～「住み続けたい地域と働き続けたい職場に関するアンケート」を実施～

総合政策学部では、名張商工会議所と連携し、名張市の人口減少対策に関する調査研究を行っています。この調査研究の一環として、8月26日（月）～9月15日（日）まで「住み続けたい地域と働き続けたい職場に関するアンケート」を実施しました。調査の結果は年度末に報告書の形で公開される予定です。



Topic 04 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定



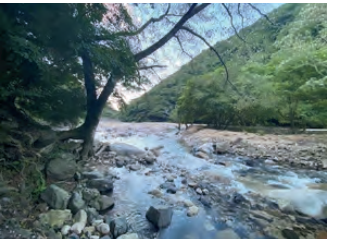
2024年8月27日（火）付で、「四日市大学データサイエンス応用基礎プログラム（環境情報学部）」が文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定されました。

この制度は、内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携し、大学等の正規の課程であって、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、適切に理解し、活用する能力を育成することを目的として、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して奨励するものです。

Topic 05 鈴鹿山脈・宮妻峡でのライトトラップによる昆虫調査

環境情報学部野生動物保全学研究室の野呂ゼミでは、夏休みに宮妻峡でライトトラップによる昆虫調査を行いました。

宮妻峡は、鈴鹿山脈南部の内部川上流にある四日市市で唯一の渓谷で、自然度が高く、多様な生物が生息しています。



調査方法をもっと詳しく！



方法…ライトトラップ

⇒昆虫を誘引する波長のライトを使用して採集する方法

場所…内部川上流部左岸の標高約330m付近にある宮妻峡駐車場で実施

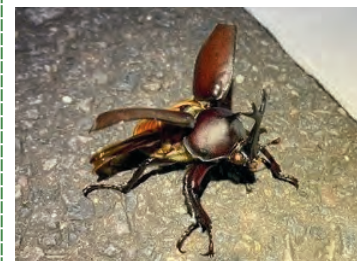
道具…全方位HIDライト(2灯)、ポータブル電源(2台)

方法…風が穏やかで曇りもしくは新月の日を選び、
ライトトラップ(カーテン法)を日没から2時間設置

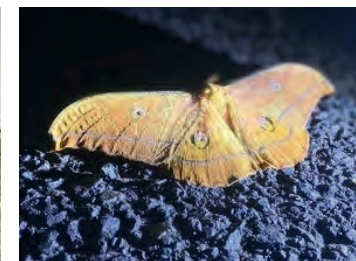
採集中…



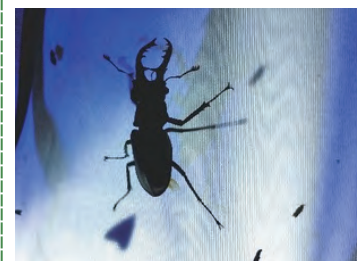
ライトトラップに誘引された昆虫類



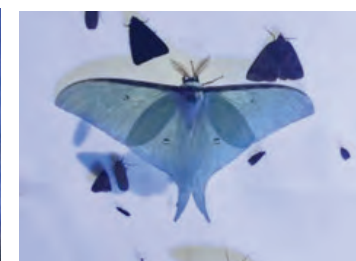
[カブトムシ]



[ヤママユ]



[ミヤマクワガタ]

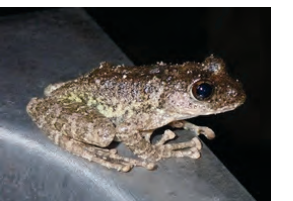


[オオミズアオ]

周辺で見つけた両生類と爬虫類



[モリアオガエル]



[カジカガエル]



[アオダイショウ]



[ニホンマムシ]